

令和6年度 平田野中学校区学校運営協議会

令和6年11月19日(火)

平田野中学校 被服室

1 授業参観

(校長より)

・地域で子どもをどう育てるのか、という視点で昨年度から議論していただいている。今年度もその視点を大切にしていきたい。そのうえで今日は「非認知能力を地域でどのように育てるか」について講演していただく。

・まず授業参観をしていただき生徒の様子を見ていただこうと思っている。よろしくお願いします。



2 講演「地域で育む非認知能力の育成について」 鈴木一将（教育指導課）

- ・認知能力ってなに
 - ・4つの非認知能力
 - ・地域で非認知能力を育てるために
- の内容で講演をしていただいた。



3 グループ討議と内容報告

講演を受けて20分間のグループ討議。その後、各グループの討議内容の報告。

- ・子どもから返ってこないとしても辛抱強く大人から挨拶していくことが大切。
- ・地域で行事を行っても大人が子どもを弱体化している。子どもが主体性を発揮できるようにしていかないといけない。
- ・今、先生方がしていることが非認知能力の育成とどうつながっているのか確認していくことが必要になっている。
- ・まちづくり等の行事においても子どもが活躍し自己肯定感を高められるような機会をどのように作っていくか。
- ・各学校の活動を知ることができた。このような地域全体で情報を共有するような機会を作っていってほしい。
- ・ボランティア等の活動について後継者を探して、継続することが難しくなっている。

国府小学校からの参加者から学校の掲示について意見があり、国府小神原校長が補足

- ・子どもたちにアンケートしたところ「ありがとう」「おはよう」が言われてうれしい言葉のトップだった。学校として、これらの言葉を「魔法の言葉」として大切にするよう取り組んでいる。
- ・自尊感情が低いことは、現状に満足しておらず向上心をもっているという視点で見れば悪いことではない。
- ・学校だけで非認知能力を育てるのは難しいので、家庭・地域が一体となって取り組んでいく必要があるのではないか。

